

リサイクルループで
地球に優しい農業を
応援します。



有限会社大生地産

前橋市



- ▶ 代表者: 小島 利雄
- ▶ 設立年月日: 1981年4月15日
- ▶ 資本金: 300万円
- ▶ 従業員数: 4人

- ▶ 住所: 前橋市東金丸町91-80
- ▶ TEL: 027-280-2451
- ▶ Mail: k-komine@sunfield.ne.jp
- ▶ URL: www.atr-eco.co.jp

(関連会社: 株式会社アドバンテック・レヒュース)

当社HPへは
こちらから→



企業紹介

- ・産業廃棄物処理業
- ・産業廃棄物収集運搬業
- ・有機質肥料製造・販売



経緯・背景

UCC上島珈琲(株)(以下「UCC」)群馬工場から排出されるコーヒー抽出かすの有効活用策の一つとして、2017年に食品リサイクルループの構築に関する検討を開始。当社は、コーヒー抽出かす収集運搬(株)アドバンテック・レヒュース以下ATR)、直売所運営会社(株)風の市場以下「風の市場」と共に、検討メンバー企業として参画。2017年11月20日に当該食品リサイクルループが、国内コーヒー製造業初の取組として、農林水産大臣・環境大臣の認定を受け、現在もその取組は継続実施しています。

具体的な取組

UCC群馬工場から排出されたコーヒー抽出かすの一部を原料として有機質肥料を製造しています。その有機肥料を農家で使用していただき、栽培された野菜を風の市場で販売しています。現在、6件の農家に供給し、10種程度の野菜が販売されるまでに至っています。

栽培品目:ほうれん草、なす、白菜、ブロッコリー、キャベツ、葱、大根、小松菜、里芋等。

成果・効果

●資源の有効活用

コーヒー抽出かすと菌体肥料を混合した有機質肥料の製造、産業廃棄物として処理されるコーヒー抽出かすをリサイクル可能な資源として有効活用することを実現しています。

〔農家からも高評価〕

コーヒー抽出かすは、性状がさらさらしているため通気性が良く、発酵分解が早く進む点がメリットとされています。実際に肥料を使用している農家からは、「土が柔らかくなり根の張りが良い」、「野菜の収穫期間が長くなる」、「病気への耐性が上がる」、「有機質が多いため野菜の旨みが増す」、「収穫してからの日持ちも良い」等の声をいただいています。

●消費者へのSDGs活動情報の訴求

風の市場は、消費者との接点となるため、当該取組のパネル等を作成し、情報の訴求に力を入れています。世の中でSDGsの浸透度が高まっていることもあり、先般、一般消費者にもわかりやすい取組事例として、全国版ニュース番組(BSテレビ東・日経プラス10)にも紹介されました。



当社にとってのSDGsと、その展望

SDGsは一部の企業や官公庁だけでなく、農家(生産者)や一般の消費者にも広く普及していくべき目標だと当社は考えます。当該リサイクルループは、廃棄物の有効活用を支える当社ならではのSDGsの取組として、関係各社と連携しさらに強化を図りたいと考えております。生産者に対しては、コーヒーかす堆肥のメリットを発信し使用農家の増加に繋がります。一般消費者にはUCC、風の市場と連携し、直売所での情報発信を強化し、身近なリサイクルループの一例としてわかりやすいSDGsの普及に努めていきます。